

# 取扱説明書

## ロータリーサンプラー RS-2形



### 筒井理化学器械株式会社

〒110-0003 東京都台東区根岸1-1-31

TEL 03-3845-2011

FAX 03-3842-5852

E-mail: [sales@e-tsutsui.com](mailto:sales@e-tsutsui.com)

## 仕 様

本器は、1/10 縮分のロータリーサンプラーです。

### 電 源

100V・75VA・50/60Hz

(本器は周波数により振動が変わります。筐体に表示されている周波数を確認し御使用下さい)

### ホッパー

容 量・・・約 2,000ml (ロート部、筒部、蓋)、SUS304 製

排出口径・・・30 mm□

### トラフ

寸 法・・・外巾 35mm×長さ 200mm SUS304 製

### 回転部

ポリ容器・・・250ml、10 個

ギア比 30 : 1 ギアモーター (25W) 使用

### 付 属 品

コード類・・・電源コード、接続コード

工 具・・・トラフ脱着用ボックスドライバー

取扱説明書・・・1 式

部 品 名
-------

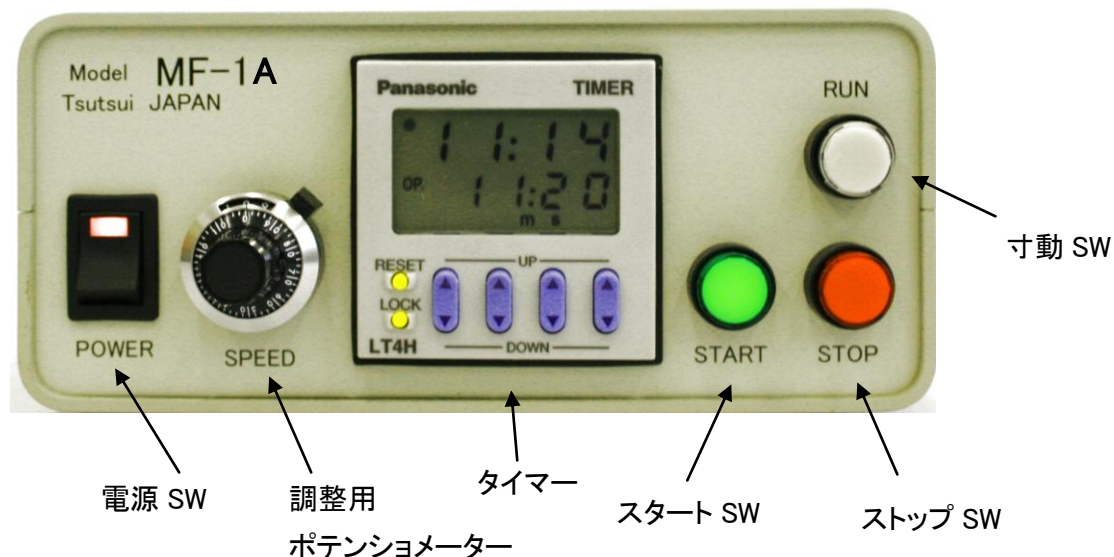
- |   |            |   |
|---|------------|---|
| A | 本 体        | (前面) 動作確認用 LED……フィーダーの動作時に点灯<br>スピードコントローラー……回転制御用<br>モーター駆動 SW……モーターの ON, OFF 用<br>(背面) 電源コネクタ……6 ピン (信号も含む)<br>電源コネクタ……4 ピン (中) モーター用<br>信号コネクタ……2 ピン (小) モーター回転信号<br>(上面) トラフ取付け穴<br>ホッパー用スタンド取付け穴 |
| B | トラフ        | トラフ取付け金具  |
| C | ホッパー       | ホッパー蓋<br>ホッパー<br>ホッパー用スタンド棒<br>ホッパー固定リング  |
| D | コントロールボックス | (前面) 電源スイッチ<br>振動調節ボリューム<br>タイマー<br>開始 SW<br>停止 SW<br>寸動 SW<br>(背面) 電源コネクタ……6 ピン<br>100V 電源コネクタ……3 ピン   |
| E | その他        | 電源コード、100V 電源コード<br>トラフ脱着用ボックスドライバー<br>取扱説明書  |

## 各部名称と機能

### 1. 本体部

別紙図面を参照願います。

### 2. コントロールボックス



電源 SW・・・メインスイッチ

調整用ポテンシオメーター・・・送り速度の調整用（10回転）

出荷時には、5.0 に設定しています。

スタート SW・・・スタートスイッチ

ストップ SW・・・ストップスイッチ（タイマーにて停止した場合にも点灯）

寸動 SW・・・寸動スイッチ（停止中に寸動させたいときに使用、押している間動作します）

タイマー・・・動作時間を設定します。

タイマーの設定は、青色スイッチの UP、DOWN で行います。

時間は、4桁（最大 99 分：最大 60 秒）で設定します。

設定しましたら、RESET スイッチを押して設定完了です。

出荷時には、10 分 00 秒に設定してあります。

## 使用 方 法

1. 梱包を開き、付属品の確認をして下さい。
2. 電源スイッチが **OFF** であることを確認して下さい。
3. 本体を水平な場所に設置しコネクタ類を接続（2種類）して下さい。
4. ホッパーに供給する試料を、粉スコップ、薬匙、等で静かに投入して下さい。  
（振動を与えて粉体が固まらないように注意下さい）
5. 電源スイッチを **ON** にしてしばらくすると、本体のスピードコントローラーの表示が **0** になります。本体のスナップ **SW** を **ON** にするとモーターが回転します。
6. その後、振動調節ボリュームを回して、コントロールボックスの **START** スイッチを押すとトラフが振動し試料がトラフ上を移動します。
7. 単位時間の排出量を計量し、振動調節ボリュームなどにより供給量を調整して下さい。供給量の調整は、次節を参照願います。
8. 必要に応じてタイマーの時間を設定して下さい。
9. 他の試料を供給する時は、残っている粉体を出来るだけ排出し分解、清掃、洗浄してください。

## 供給量の調整

1. 振動調節ボリュームにより供給量を調整します。
2. ホッパー排出部とトラフの間隔をかえる。間隔を調整することにより、トラフ上の試料の厚みが変わり試料の供給量が変わります。
3. さらに、供給量が通常の調整では足りない場合は、内部の調整で供給量を変化させることができます。また、ホッパーの排出口径およびトラフの幅を変えることにより、供給量の調整ができます。これらの場合は、弊社に問い合わせ願います。

御 注 意
-------

- ※ 試料の流動性、乾燥状態、粒度、その他粉体特性によりホッパーでブリッジをしたり、詰まったりし供給できない場合があります、御注意下さい。
- ※ ブリッジを起こす場合は、別売りブリッジ防止器があります。(試料の流動性、粉体特性、供給量等により使用できない場合もあります)
- ※ 試料をホッパーに投入する時、スコップ等で静かに投入し、振動等を与えずに蜜充填にならないよう御注意下さい。
- ※ 本器は電源周波数 (50/60Hz) により振動が大きく変わります、本体に表示されており周波数を確認の上ご使用下さい。
- ※ 電源電圧の変動する場合には、振動が変化するため定量性が悪くなります。精度良く供給する場合は定電圧装置をご使用下さい。
- ※ 本体には水が掛からないようにして下さい。(故障の原因となります)